

平成 29 年 3 月 29 日

鹿児島大学病院 麻酔科 で  
全身麻酔を受けた患者さんへ  
( 臨床研究に関する情報 )

鹿児島大学病院麻酔科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

**【研究課題名】**

全身麻酔時の気道管理に関する危険因子の検討  
～3D-CT 構築と推定流速の算出～

**【研究機関】**

鹿児島大学病院 麻酔全身管理センター 麻酔科

**【研究責任者】**

鹿児島大学病院 麻酔全身管理センター 麻酔科  
教授 上村 裕一

**【研究の目的】**

全身麻酔をかけると自分で呼吸をするのが難しくなるため、まずマスクを口に当て呼吸のサポートを行い、次に口から気管（肺につながる管状の部分）に気管チューブという管をいれ人工呼吸器を使って呼吸をします。

この一連の流れは全身麻酔において非常に重要で安全性が高いものでなければならぬため、口は大きく開けられるか、喉に異常はないかなど様々なことを

麻酔前に確認しています。しかし、実際に麻酔をしてみると予想していた事とは違うことがあります。

この研究では、鹿児島大学病院手術室の過去5年間の電子麻酔記録データから気管挿管を受けた患者さんを抽出し挿管方法や難易度などを評価します。そして、術前に通常診療で撮影したCT画像や呼吸機能検査などの生理機能検査などと照合し麻酔前に気道評価になりうる因子を検討していきたいと考えています。

### 【研究の方法】

平成24年1月1日～平成28年12月31日までの電子麻酔記録から全身麻酔症例を抽出し、気道確保に関わる情報を抽出します。また、手術前後に撮影されたCT画像（3D画像を構築し、気道の流速を算出します。）呼吸機能検査、睡眠ポリソグラフィ検査などの生理機能検査と照らし合わせて、気道確保について検討していきます。

#### ● 対象となる患者さん

平成24年1月1日から平成28年12月31日までに、鹿児島大学病院で全身麻酔を受けた患者さんを対象にしています。

#### ● 診療録（カルテ）から利用する情報

全身麻酔下で気管挿管を行なった際の情報（使用した道具、難易度、合併症、術前麻酔記録）、術前後に撮影されたCT画像や呼吸機能検査、睡眠ポリソグラフィ検査を使用します。

### 【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

鹿児島大学病院麻酔科学分野の研究費（使途特定寄付金）で実施する。

企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 麻酔全身管理センター 麻酔科

教授：上村 裕一

電話 099-275-5430 FAX 099-265-1642